

【医療通訳専門技能認定試験・受験申込書作成時の記載要領】

受験申込書の作成にあたっては、下記要領を熟読のうえ、黒の油性ボールペン（消せるボールペンは不可）を使用し、作成すること。

誤りの無いよう楷書で丁寧に記入し、記入を誤った場合は、受験者本人が訂正箇所に二重線を引き、訂正すること。訂正印は不要。

※記載内容に不備があった場合は、受理（受験）できないことがあるので注意すること。

■下記①～⑫の事項に留意し、記入すること。

①記入日

受験申込書の記入日（西暦）を記入すること。

②試験日

希望する試験日（西暦および和暦）を記入すること。

③試験種別（受験経験）

選択する種別に☐を記入すること。また、該当する受験経験に☐を記入すること。

④氏名・フリガナ

楷書で正確に記入し、略字は使用しないこと。

氏名がひらがな、カタカナの場合でも、フリガナはカタカナで記入すること。

特殊な漢字（画数が多く複雑なもの・微妙な違いで別の漢字になるもの・旧字体・異体字・別字体・中国語字体など）については特に注意して記入すること。

日本国籍を有しない者は「外国人登録原票」に記載される文字で正確に記入すること。

⑤性別

該当するものに☐を記入すること。

⑥生年月日

西暦および和暦で記入すること。

⑦年齢（満）

年齢の基準日は受験申込書記入日とし、満年齢を記入すること。

⑧母語（第一言語）

母語（第一言語）を記入すること。

⑨現住所・電話・携帯電話・Eメール

都道府県名から番地、またマンション等の場合は号数まで記入すること。

試験結果を通知する送付先の住所となるので、詳細に正確に記入すること。

必ず受験者本人の電話番号または携帯電話、Eメールを記入すること。

Eメールアドレスは、ハイフン、アンダーバー、ドット、数字の1とアルファベットのLなど、間違えやすいものについては特に注意して記入すること。

⑩受験資格

- 1 → 認定委員会が定めるガイドラインに適合すると認める研修・講座等を履修した者
- 2 → 医療通訳者として2年以上の実務経験を有する者
- 3 → 医療通訳基礎技能認定試験の合格者で、医療通訳者として1年以上の実務経験を有する者
- 4 → 認定委員会が前各号と同等と認める者

⑪希望言語

希望するものに☐を記入すること。

受験申込後に希望言語の変更はできません。

⑫希望受験地

希望するものに☐を記入すること。

受験申込後に受験地の変更はできません。

〔受験申込みに際しての注意事項〕

※提出された証明書および写真（2次試験受験申込者のみ）等は返却いたしません。

※納入された受験料は、いかなる場合も返還いたしません。

※受験申込書類の受取確認はできません。簡易書留にて送付のうえ郵便局の追跡サービスにてご確認ください。